

Ⅲ 調 査 票

【県民の移動の実態及び公共交通に対する意識について】

長野県では、自家用車に頼らなくても不便を感じずに、日常生活を送ることができる状態を目指しています。今後の政策の参考とするため、以下について伺います。

このアンケートでは、鉄道、バス、タクシーを公共交通としてお答えください。

問1 通院や買い物等の目的で最も長い時間利用する交通手段を教えてください。(すべての目的ごとに交通手段を1つずつ○)

交通手段 目的	自家用車・バイク (自分で運転)	自家用車・バイク (家族の送迎)	鉄道	バス	タクシー	その他の 交通手段	該当する目的 での移動なし
通勤							
通院							
買い物							
公共施設での手続き							
趣味・レジャー							

問2 それぞれの目的について、最もよく行く目的地はお住まいの市町村か、市町村外か教えてください。(すべての目的ごとにどちらか○) ※問1で「該当する目的での移動なし」を選んだ項目については回答不要

所在地 目的	お住まいの市町村	市町村外
通勤		
通院		
買い物		
公共施設での手続き		
趣味・レジャー		

問3 あなたにとって公共交通を利用して移動できると便利だと思う目的地を教えてください(3つまで)

- ① 勤務先
- ② 病院
- ③ 大規模商業施設(スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなど)
- ④ 公共施設
- ⑤ 観光地
- ⑥ 他の路線や交通手段に乗り換えることができる駅やバス停
- ⑦ その他()

問4 外出の際の交通手段について、最も不安や不満に感じていることを教えてください。

- ① 自分で自家用車を運転すること
- ② 自分で運転できなくなった時、外出の手段が無くなってしまうこと
- ③ 家族に送迎してもらった際、送迎する家族の負担になっていること
- ④ 車を使うのに必要な費用が高額に感じる
- ⑤ 公共交通を使っているが、不便だと感じる部分があること
- ⑥ 公共交通を使いたいが不便で使えないこと
- ⑦ あてはまるものはない／不安や不満はない

問5 問4で⑤、⑥を選んだ方にお聞きします。公共交通が不便だと感じる理由を教えてください。(3つまで)

- ① 目的地・出発地の近くに駅やバス停がないから
- ② 運行本数が少ないから
- ③ 公共交通と公共交通の乗り継ぎが不便だから(例:バスから電車への乗り継ぎ等)
- ④ 自家用車の移動に比べて時間がかかるから
- ⑤ 電車・バスの運賃が高額に感じるから
- ⑥ タクシーの利用料金が高額に感じるから
- ⑦ 身体的に利用が難しいから
- ⑧ 外出の目的に合わないから(買い物で荷物がたくさんある等)
- ⑨ その他()

問6 みなさまが公共交通をもっと利用しやすくなるために、求めるサービスを教えてください。(3つまで)

- ① 路線を増やし、目的地・出発地の近くに駅やバス停をつくる
- ② 運行本数を増やし、ダイヤを充実させる
- ③ 車両を大型にしたり、車両の数を増やしたりしてピーク時の混雑を緩和する
- ④ 定額乗り放題や上限運賃の設定など、利用しやすい運賃設定を導入する
- ⑤ 運賃を支払う時、現金等を用いずにスマートフォンやICカードをかざすことで決済ができる
キャッシュレス決済を導入する
- ⑥ 経路検索サービスで電車やバスの乗り継ぎが表示されるなど、利便性が向上する
- ⑦ 駅やバス停の待合環境が改善する
- ⑧ その他()

問7 問6で選んでいたサービスを実現するための費用は誰が負担すべきだと思いますか。ご自身が最も「負担すべき」と感じるものを1つ教えてください。

- ① 運賃に反映し利用者が負担
- ② 沿線の企業や住民など地域が負担
- ③ 行政が負担
- ④ わからない

問8 県内の公共交通は民間事業者の独立採算だけで維持していくことは困難な状況となっております。今後の公共交通全体に対する行政の負担と利用者負担の最も望ましいあり方だと思ふもの(以下の中からご自身のお気持ちに最も近いもの)を教えてください。

※サービス水準とは、ダイヤ・運行回数・運賃、決済環境、情報提供、待合環境の品質の最低基準

- ① 行政の負担、利用者の負担(運賃)ともに現状のままでよい(サービス水準は低下)
- ② 行政の負担を現状のままとして、利用者の負担(運賃)を増やした方がよい(サービス水準は維持)
- ③ 行政の負担を増やし、利用者の負担(運賃)は現状のままでよい(サービス水準は維持)
- ④ 行政の負担を大きく増やし、利用者の負担(運賃)は現状のままでよい(サービス水準は向上)
- ⑤ 行政の負担、利用者の負担(運賃)ともに増やした方がよい(サービス水準は向上)

問9 そのほか、県内の公共交通に対するご意見、ご要望があればお書きください。

【自殺対策について】

長野県では、毎年300人以上の方が自殺で亡くなっている中、令和5年3月に「第4次長野県自殺対策推進計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない信州」の実現を目指し、人材育成、普及啓発、関係機関とのネットワーク強化、市町村支援などの取組を行っています。計画の策定に当たっては、各項目について評価・検討をすることとしております。

つきましては、計画の評価目標の確認を行うため、以下についてお伺いします。

問10 自殺対策に関する以下の相談窓口等について知っていましたか。知っていたものをすべてお選びください。(いくつでも)

- ① こころの健康相談統一ダイヤル
- ② こころの相談窓口
- ③ よりそいホットライン
- ④ 長野いのちの電話
- ⑤ 各種SNS相談窓口
- ⑥ ゲートキーパー
- ⑦ くらしと健康の相談会
- ⑧ 自殺予防週間／自殺対策強化月間
- ⑨ 子どもの自殺危機対応チーム
- ⑩ いずれも知らなかった

問11 あなたは自殺の実態やその予防に関する知識を得る機会((例)ゲートキーパー研修会もしくは、自殺予防に関する講演会等)がありましたか。

- ① あった
- ② なかった

問12 自殺の実態やゲートキーパーに関する以下の情報について、もともと知っていたものは知っていたに、知らなかったものは知らなかったをお選びください。

情報・知識	知っていた	知らなかった
①長野県では、1日におよそ1人の方が自殺で亡くなっている		
②自殺は「個人の自由な意思」や「選択の結果」ではなく、その多くが「追い込まれた末の死」である		
③自殺すると言っている人の中には、本当に自殺するつもりの人がいる		
④自殺をする人は、「死にたい」気持ちと、「生きたい」気持ちの間で揺れ動いている		
⑤自殺を考えている人は、何らかのサインを発していることが多い		
⑥多くの自殺の原因は、複数の要因が関連している		
⑦ゲートキーパーは、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、見守りや、必要に応じて専門家へつなぐ役割を期待される人である		

問13 あなたは過去に「死にたいほどつらい」気持ちになったことがありますか。当てはまるものを選択してください。

- ① あった(1年以内)
- ② あった(1年以上前)
- ③ なかった

問14 問13で「①あった(1年以内)」または「②あった(1年以上前)」を選んだ方にお伺いします。どこかに相談しましたか。当てはまるものを選択してください。(いくつでも) また、「⑩その他」をお答えの場合は、具体的な相談先をご記載ください。

- ① 親
- ② 配偶者、恋人、パートナー
- ③ 友人
- ④ 地域住民(近所の人、地域のお店等の店員、民生委員等)
- ⑤ 民間の相談窓口・民間のカウンセラー
- ⑥ 公的機関の相談窓口
- ⑦ 医師・医療機関
- ⑧ 法律の専門家
- ⑨ インターネット上(掲示板、動画配信者等)、SNS上
- ⑩ その他()
- ⑪ 相談はしなかった

問15 「表情が暗い」「元気がない」など、いつもと様子が違う人に対して、どのように接していますか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聞く
- ② 実施していることはない
- ③ その他()
- ④ これまで様子が気になる人はいなかった

問16 問15で①を選んだ方にお伺いします。相手が悩みを打ち明けてくれた場合、普段から実施していることはありますか。当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

- ① 相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する
- ② 早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す
- ③ 心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る
- ④ その他()
- ⑤ 実施していることはない

問17 あなたの周りにいる子どもたち(18歳以下)は生き生きと過ごすことができていると感じますか。当てはまるものを選択してください。
また、③もしくは④を選択した場合、理由もご記載ください。

- ① 感じる
- ② まあ感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 感じない
- ⑤ 分からない

③もしくは④を選んだ方は、その理由をご記載ください。

問18 あなた自身、家族又は周囲の人に下記の内容が原因で悩んでいる方はいますか。
当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

- ① 生活困窮
- ② 勤務問題(ハラスメント、職場環境、労働条件等)
- ③ いない

問19 問18で「①生活困窮」を選んだ方にお伺いします。
その悩んでいる方はどこに相談しましたか。当てはまるものを選択してください。(いくつでも)
また、「⑨その他」をお答えの場合は、具体的な相談先をご記載ください。

- ① 家族・親族
- ② 近所の人
- ③ 弁護士・司法書士
- ④ 貸金業者
- ⑤ 民間の相談窓口・民間のカウンセラー
- ⑥ 福祉事務所(もしくは行政の生活保護担当部署)
- ⑦ 長野県生活就労支援センターまいさぼ
- ⑧ 暮らしと健康の相談会
- ⑨ その他()
- ⑩ 相談はしなかった
- ⑪ 分からない

問20 問18で「②勤務問題」を選んだ方にお伺いします。
その悩んでいる方はどこに相談をしましたか。当てはまるものを選択してください。(いくつでも)
また、「⑦その他」をお答えの場合は、具体的な相談先をご記載ください。

- ① 家族・親族
- ② 友人
- ③ 上司・同僚・部下
- ④ 近所の人
- ⑤ 民間の相談窓口・民間のカウンセラー
- ⑥ 公的機関の相談窓口(労政事務所、長野労働局雇用環境・均等室、労働基準監督署など)
- ⑦ その他()
- ⑧ 相談はしなかった
- ⑨ 分からない

【30代～50代で現在就労(正規・非正規限らず)している方への設問】
問21 あなたは安心して働いていると感じますか。当てはまるものを選択してください。
また、③もしくは④を選択した場合、理由もご記載ください。

- ① 感じる
- ② まあ感じる
- ③ あまり感じない
- ④ 感じない
- ⑤ 分からない

③もしくは④を選んだ方は、その理由をご記載ください。

--